

【刊夕】日八月九



加五稅郵錢十五月一 錢貳金部一 價定  
刊休日祭議日 錢05行 語字 2 號5料告廣  
治文 崎川 入刷印人輯編録行發  
五三町橋長町平郡城石縣島福  
番〇三六話電 社開新日每警常 所行發  
社會式株刷印日每警常 所刷印

### 即身成佛 (一)

眞繼雲山

一念に三千あり

人間が神の化身であるのか、獸類の進化したものであるのかは容易に断定し兼ねるが、その現實を宗教的に見るとき、恐らくはその兩面を異へてゐると言へやう

つまり神の質、多きものが近神人であり、獸性の多きものが近獸人といふことになるが、エロゴロ百パーセントの尖端的近代風景は少くとも神の世界が人界に低下し、人界が更にじう類の世界にまで墮落しつつあることを思はしめる

佛敎では神、人、獸の三段を十界に區別し、更にこれを三千界に細別してその三千界は一念に宿るとするものが臺家の一念三千の説である

が正銘の畜生なのであつて必ずしも二本足と四足たるを問はぬ、然らば畜生にも佛性あるべし、く佛も畜生となる可能性ありて成り下らぬが佛である

五乘齊入

佛敎の目的は人として佛になることにあるので、順序を踏んで段かきを登るとすれば、荒きざみにして人も人間、天上、聲聞、緣覺、菩薩の五乘を経て初めて佛果に到るので、更に細別すれば、菩薩となるだけにすら五十二の階段を登らねばならず、そのためには三祇百劫といつて、われ／＼凡人にはちよつと想像もつかぬほどの年處を經歷せねばならぬとする

この正則のゆき方は、堅に修行の時を超えやうとするのであるから堅超といひ漸次に登るのであるから漸教といふのであるが、斯やうな堅超漸教の道を歩んでゐた日には、とても短い五十年の内に成佛すると思ひも寄らぬから、茲に頓速の間に、一足飛びに横さまに生死の波を超えて彼の淨土に渡らうとするのが横超であり、頓教である、凡夫も

羅漢も齊しく佛地に入るゆゑこれを五乘齊入といふ



折にふれて

窪田志朗

折にふれよそことしもなく偲ばるゝ若くしゆきし友のことども

美き人のそこはかとなくみなうせて我がすまん世ぞ悲しかりけり

たゞすまん行手のすゝさうね／＼と秋風のはや立ち初めにけり

朝霧の野面をふかく立ちこめて我が里家の見わけかねつむ

山の端におどり出でける黒雲をはた氣にしつゝ道を急けり

### 文具破格特賣

半額、三割引、二割引

自運動靴 五十銭 九半以下 六十五銭 九七以上

平膝前 マルカ運動具部 電話三十二番

◎聽逃勿れ短期特別大興行

### 大浪曲

一若改メ

天下 敵無シ 吉田奈良丸師 外敷 十名 出演

◎師之獨特之讀物

前 勸進帳 長講 二席

後 神崎東下り 二席

◎期 日……九月八日一日限り(絶対に日延ナシ)

◎時 間……午後五時煙火合圖開場

◎場 所……平町 聚樂館 於て

◎入場料……特等席御一名付金壹圓二十銭 一等席平土間御一名付金壹圓

◎前賣特別割引券發賣所 平會田時計店 三光堂 町大谷時計店 光地堂 新田町 岩本商店

### 第一回郡下模型飛行機競技大會

主催 いづみや玩具店 後援 常磐毎日新聞社

一、時 日……昭和六年九月二十日(日曜日)當日天候不良の際は次の日曜日

一、場 所……平第一小學校々庭

一、參加資格……當店より御買上の方なれば誰人を問はず參加出來ます

一、參加申込……開催前日迄に當店へ御申込の上參加券を御請求下さい

一、參加飛行機……種類を問はず當店より御買上の材料にて自作したる物に限る事

一、競技……競技は距離及び耐空時間によつて之を定め飛行回数は一機三回とし一名にて二機迄差支へなし但し機体の長さ二尺以上(A)二尺以下(B)の二組に分つ

一、審査……審査は係員に一任し、不平を申出ざる事

一、賞品……美術置時計 大正琴 活動寫眞機 一、二、三、四、五等 個 個 個 個 個

等外の參加者にも全部記念品を贈呈す 尙詳細は主催店へ御問合せ下さい印刷物を差上ります

模型飛行機材料の御用なら いづみや 何んでも揃つて一番安い 玩具店へ

### 専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します 往診 呼吸器病ばかりではありません

平町南町六五

### 川井内科診療所

醫學士 川井重之 女醫 川井安子 電話一八一番



# 闇黒の中にて

## 警官と小せり合ひ

### 昨夜全勞の演説會 遂に中途解散

全勞農大衆黨石城支部合同演説會は昨六日午後六時から平町警察署において開會されたが、聴衆約五百名あり、定刻高橋忠弘開辭を述べ、別面所報の決議事項を説明中不穩の言辭あつた爲め其筋より解散を命ぜられたが、黨員は之を肯んぜず、三輪壽壯、阿部茂夫の兩氏始め官憲の横暴を叫んで演壇に立ち何者か電燈を消した爲め闇黒の中に立會警官と小せり合ひを演じたが聴衆の大部分は其の儘静謐裡に散會した

### 支部大會に

### 三選士出場

別項、聯合武術大會にて優勝した藁谷久太郎、吉田直枝、藁谷久光の三氏は来る十九、廿日の兩日在郷軍人福島支部主催の武術大會に出場することに決定した

### 勿來町森林組合

### 本月末創立總會

勿來町における部落有林野統一を計る森林組合の組織については既報の如く賛成調印を求め大具体案の準備も整つたので二十日頃町會を召集することになつたがこれが創立總會は三十日頃開催する運びとなり森林事業の振興から大いに期待してゐる

### 着手を督促

### 嚴重な警告

總工費三十萬圓の内六年度工事として三萬圓を投じて改修に着手する豊間漁港は既に七月二十五日附で工事認可の指令に接し又三萬圓も借入れを了してゐるに拘ら

### 日本銀行の

### 提出額二百萬圓

### 磐城銀行第一回調査會

磐城銀行破算管財人及同行債權者の第一回調査會は昨六日午前九時より平第二小

### 全債權者

番號三千三百卅一番のうち當日は一番より千番迄の債權否認番號を呼び上げ千番以上は次回十月三日午前九時より平區裁判所法廷に行ふ事となつたが、同行債權者中日本銀行の提出額は二百萬圓であり管財人は百廿萬圓と計上して居るので其のいづれを支拂つても他の債權者に大影響がある爲其の内容を調査する必要があると門傳辯護士外四名の特別調査員を擧げ午後四時散會した

### 白兵の鋭鋒

### 大和魂の精華

### 妙技を盡した

### 軍人武術大會

石城郡在郷軍人聯合分會第四回武術大會は昨六日午前九時より平商業學校武道場にて行はれたが郡下各村分會選拔選士百五十余名参加する盛會を極めたが午後五時左の戦跡を残して散會した

### 軍刀術

- 一、藁谷久太郎(高久)二
- 木田芳重(内郷)三、須藤肇(飯野)四、草野誠(小川)五、高木善枝(渡邊)

### 銃劍術

- 一、吉田直枝(山田)二、藁谷久光(永戸)三、鈴木常太郎(豊間)四、粒來義夫(渡邊)五、大樂忠利(大浦)六、蛭田儀一(田人)七、阿部百吉(夏井)八、森本米吉(小野田)九、野木秀文(平窪)一〇、大

**明日の天気**

今晩は南東の風曇り後天気次第によくなる明日は天気よきの見込

報象氣大

### 今晩の部

- 後六、〇〇(子供の時間)童謡とピアノ獨奏、仙臺市片平町小學校(二年)眞龍五三子ピアノ伴奏六年登坂美春、宮城縣男子師範學校附屬小學校(五年)箕作照子ピアノ伴奏佐藤益喜
- 後六、三〇 趣味の科學知會した

### 平法曹團が

### 庭球部組織

### 會長に安齊氏

平區裁判所の辯護士書記等の若手連が五日午後二時から同區裁判所内に平法曹庭球俱樂部を組織發會式を舉行したが俱樂部役員左の如し

### 全國を荒し廻り

### 平町に流れ込む

### 大膽不敵な不良青年

昨六日午後九時頃鎌田地内を平署員が密行中同地内を徘徊する一名の青年を引致取調すると右は福井縣警察部より全國に照會中の静岡縣生れ白鳥源太郎(三)にて去月五日福井縣吉田郡吉田村字白拔福井絹織物會社長酒井米次郎方に押込み現金九十三圓餘を窃取其他同縣

**明日の部**

- 後九、四〇 時報、全國ニュース、氣象通報、番組豫告、生駒相場
- 後六、三〇 趣味の科學知會「人体の進化と退化」
- 後七、三〇 川柳講座「應募句に就て」選者大谷五花村、講師川上三太郎
- 後八、〇〇 清元一進行思案餘「清元延玉葉外尺八獨奏、神如道」
- 後八、四〇 漫談「不味侯と名工如泥」悟道軒圓玉
- 後九、〇〇 ピアノ獨奏マキシムシヤビロ

### 豪雨中の捕り物

### ナダを揮つて一圓強奪

### 變名自在の怪漢

六日午後十二時平町南町を巡廻中の平署員が、一見労働者風の男を怪しと見て誰何するや突然逃走せんとしたので折柄の豪雨中泥まみれになつて大格闘の末取押へ平署に引致取調ると右は石城郡泉村字本名七六忠太郎二男戸澤清事佐藤敏夫(三)で去月十二日田村郡小野新町字新谷治草野ミヅ(三)方を襲ひ鉈を振つてミヅから一圓餘を強奪した旨自白したが同人は常に本名の佐藤を語らず戸澤清或は阿部清等に變名しては警戒網を逃がれてゐたもので餘罪あるらしく目下取調中

### 松崎稻荷祭典

### 平町

四軒町に鎮座する松崎稻荷では七日盛大な祭典を行ふが余興として橋師仕掛花火等が行はれると

### 梨卸卸賣

### 十日には講習

石城果樹組合では五日團體事務所組合長會議を催し十日午前九時より同所に於いて梨柿荷造講習會を開催する事に決定したが講師は東京販賣卸旋所の佐久間技師である尚組合では十八、九の兩日同所樓上で梨果荷造の品評會及び卸賣會を行ふ事になつたが十八日午前中は出品物の搬入午後は審査十九日は卸賣とし廿日午後一時から賞品の授與式を行ふ筈である

### 勿來後任校長

### 勿來

町尋常小學校校長欠員であつ



小説

# 七五郎

(二十九)

【載轉禁】

渡邊 默禪作  
布施平八郎 畫

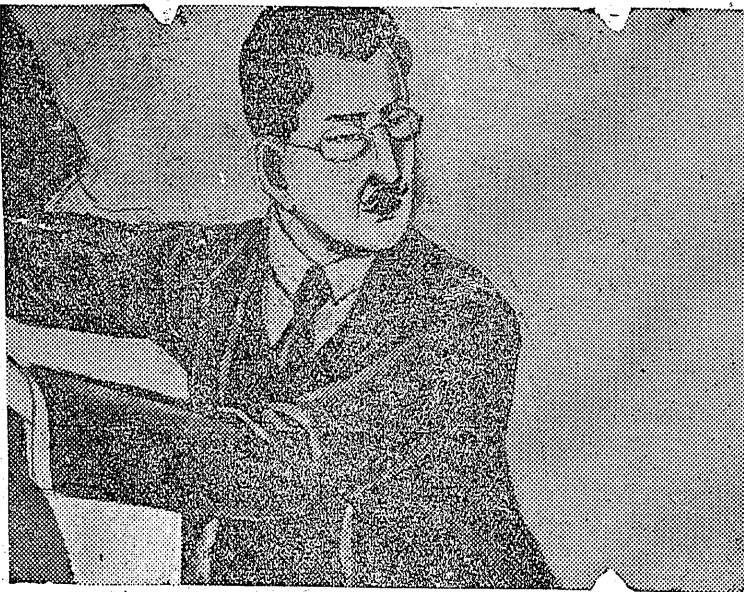
「狭妓歌治 (15)」  
「そのお話なら、もう止しにしようぢやありませんか陰氣臭くついていけないわ。さッ一杯頂戴よ。」

引奪るやうに早乙女の手から猪口をとつて手酌でぐい。  
歌治の口から出たこの答は可なり皮肉に早乙女の胸を刺した。

彼は不興らしくちつと暫くの間目を伏せて、卓上の盞に右の手をかけたまゝ、凝然となつた。川島は強て自分を欺くやうな冷たい苦笑を眉のあたりにそよがしてふんと小鼻を鳴らした。毒汁を嗅んだやうな暗紅色の唇は幾度か動きかけたが、遂に何にも言はずに了つた。植野老人はそんなことは如何でもよいといつた風に、オホンと大きな咳ばらひをしてはいふきに煙管を叩きつけてから俄に降出して来た庭先の雨の音に心配らしく耳を立てた。

頓て早乙女の盞にかけた手がぶる／＼と慄えた。険しく緊張してゆく顔の筋がスクリーンにうつる映畫のやうにまぎ／＼と歌治の目に見えた。  
岐度何事か恐ろしい變化

「ある前兆だと想ふ間もなく彼女の前ではたりちやらんといふ大きな音がした。『勝手にしろッ』同時に野獸の吼えるやうな聲が歌治の頭上に落ちた。卓に叩きつけた微塵にした盞の波瑠の破片もろとも、



血潮のやうな麥酒の黒い飛沫が彼女の膝の上へ跳ねて来た。川島はびつくりして立揚りさうにした。植野老人はさよとんとした目で二人の顔を成つた。でも歌治は身動き一つしなかつた。石のやうに黙りこくつて袂の手巾をとつたそしと藤の

上の破片を静かにはらひ落した。  
「ささまは俺の顔をつぶす氣か。つぶされるならさあ潰して見ろ、早乙女も男だ腕に掛けても必と俺の言分を理が非でも斯うなつたからには恥度徹してやるから然う思つてゐろッ。」  
怖い目で睨みつけた。厲い息の下からびく／＼と眉はうごく。  
「面白いことになつたわねちよいと」  
歌治はせ／＼と笑ひながら言つた。  
「藝者が一々お客の言ふこ

とを聞いてた日には、山玉さまの猿の數ほど体があつても堪まりあしないわよ。何なりとお勝手に貴郎様の被仰る通りになりますと書いた證文でも入れといいた譯ぢやあるまいし莫迦々々しくて腹も立てないわ。日頃の早乙女さんにも似合はな

いぢやないの、あなたも貴方ぢやありませんか、大銀行の重役さんともあるお方が、たかゞ藝者一人を友人に取持てないからといつて何もそんなに血眼になつて大騒ぎをすることもないぢやないの、あたゝい一人が藝者ぢやあるまいし。川島さんに立引きたいならもつと大きな人に聞かれても恥かしくない問題で立引いておやんなさいな、冗談ぢやない。笑はれますよ。」  
「何をッ」  
嚇となつて立ちかけた早乙女を川島慌てゝ支へた。  
「君、君、もういゝ、解かつた。待給へ、をい君……」

一冊の代金で  
御希望通りな  
五冊の雑誌が  
自由に讀める  
川崎巡 回文庫  
電話六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

科人婦。科産  
院醫坂井  
町田町平  
番九五五話電

市原醫院  
平町田町  
電話一四四番

美味! 芳醇!  
**宗正らいた**  
山崎合名會社  
電話一〇番

(院病濟共)  
**始開療診費輕**  
郡内廿四ヶ町村の囑託により六月一日より輕費診療を開始  
●診療科目 内科 小兒科 外科 性病科 皮膚科 産婦人科 物理療科 耳鼻咽喉科 X光線科  
●診察料 輕費會員 五十錢 共濟會員 無料  
●藥價 一日分 輕費會員 十五錢 共濟會員 無料  
●入院料 一日分 輕費會員 一圓以上 共濟會員 無料  
院長 醫學博士 石山謙一郎  
本院 主管 賀澤忠治  
●衛生試驗 醫化學的検査は何でも致しませぬ遠慮なく御利用下さい  
●公休日 是廢しました  
●尙御不明ノ點ハ各町村長又ハ本院ニテ御遠慮ナク御聽キ下サイ  
城 共濟會  
電話六四一 番

貸切は  
電話六四〇番へ  
平二丁目  
尼子タクシー部  
主任 澤正路

科外  
門專  
科線光X  
上田外科醫院  
平町南町  
電話二一九番

糸系と  
編物用具  
全部新色三二  
入荷致しました  
相變らず御用命の程……  
平町田町  
ハシモトヤ  
糸系店